

2020年8月6日

上場会社名 株式会社テレビ朝日ホールディングス
 コード番号 9409 URL <https://www.tv-asahi-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長・CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 早河 洋
 (氏名) 小林 直治
 TEL 03-6406-1115

(百万円未満切捨)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	57,495	△19.8	2,347	△9.4	3,685	△11.9	2,330	△7.6
2020年3月期第1四半期	71,649	△0.4	2,592	0.3	4,183	7.2	2,521	1.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 8,798百万円 (59.5%) 2020年3月期第1四半期 5,516百万円 (△17.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	22.41	—
2020年3月期第1四半期	23.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	445,446	359,162	80.4
2020年3月期	447,549	352,518	78.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 358,109百万円 2020年3月期 351,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難なことから、現時点では未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	108,529,000 株	2020年3月期	108,529,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	4,560,091 株	2020年3月期	4,556,957 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	103,971,177 株	2020年3月期1Q	107,161,727 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であることから未定としております。なお、業績予想に関する事項等につきましては【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、2020年8月6日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(セグメント情報)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況となっております。テレビ広告市況におきましても、東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期を大幅に下回るなど、さらに厳しい状況となりました。

このような経済状況のなか、当第1四半期連結累計期間の売上高は574億9千5百万円（前年同期比△19.8%）、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が551億4千7百万円（同△20.1%）となりました結果、営業利益は23億4千7百万円（同△9.4%）となりました。また、経常利益は36億8千5百万円（同△11.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億3千万円（同△7.6%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①テレビ放送事業

タイム収入は、アドバイザーの宣伝活動において柔軟性と効率性を重視する動きから、引き続き固定費削減傾向がみられ、レギュラー番組のセールスでは減収となりました。単発番組につきましては、前年同期の開局60周年記念番組である5夜連続ドラマスペシャル「山崎豊子 白い巨塔」「世界フィギュアスケート国別対抗戦2019」や「全米オープンゴルフ」などの反動により、減収となりました。以上の結果、タイム収入合計は185億6千7百万円（前年同期比△10.6%）となりました。

スポット収入は、東京地区の広告出稿量が新型コロナウイルス感染症の影響で、前年同期を大幅に下回ったことなどから減収となりました。業種別では、「官公庁・団体」は好調でしたが、「交通・レジャー」「金融・保険」「情報・通信」など多くの業種で減収となりました。以上の結果、スポット収入は152億6百万円（同△33.5%）となりました。

また、BS・CS収入は59億8千5百万円（同△7.5%）、番組販売収入は35億2千2百万円（同+9.6%）、その他収入は44億4千9百万円（同△11.9%）となりました。

以上により、テレビ放送事業の売上高は477億3千1百万円（同△18.2%）、番組制作費の減少などにより営業費用は457億8千7百万円（同△19.8%）となりました結果、営業利益は19億4千4百万円（同+50.2%）となりました。

②音楽出版事業

前年同期に開催した「ケツメイシ」のコンサートツアーの反動減や、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、「ソナーポケット」「湘南乃風」のコンサートツアーの中止・延期などにより、音楽出版事業の売上高は14億8千万円（前年同期比△63.3%）、営業費用は13億5千8百万円（同△61.8%）となりました結果、営業利益は1億2千1百万円（同△74.0%）となりました。

③その他事業

通販番組「じゅん散歩」の好調な視聴率を背景に、ヒット商品にも恵まれ、ショッピング事業が増収となりました。一方、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、「東京・大阪メトロポリタンロックフェスティバル2020」の中止など、イベントの中止・延期が相次いだことにより、イベント事業が減収となりました。また、「映画ドラえもん のび太の新恐竜」「映画クレヨンしんちゃん 激突！ラクガキングダムとほぼ四人の勇者」の公開延期などにより、出資映画事業が減収となりました。

以上により、その他事業の売上高は111億4百万円（前年同期比△7.9%）、営業費用は107億6千8百万円（同△3.5%）となりました結果、営業利益は3億3千6百万円（同△62.8%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比21億3百万円減の4,454億4千6百万円となりました。これは、有価証券が213億9千6百万円増加したものの、現金及び預金が193億8千万円、受取手形及び売掛金が137億円減少したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末比87億4千7百万円減の862億8千3百万円となりました。また、純資産合計は、前連結会計年度末比66億4千3百万円増の3,591億6千2百万円となりました。この結果、自己資本比率は80.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大は、テレビ広告市況などの当社グループの事業環境に多大な影響を与えており、現時点で業績予想の合理的な算定が困難であることから、2021年3月期の連結業績予想につきましては、未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,534	20,153
受取手形及び売掛金	74,417	60,716
有価証券	17,405	38,802
たな卸資産	11,791	12,151
その他	12,455	14,514
貸倒引当金	△71	△60
流動資産合計	155,532	146,278
固定資産		
有形固定資産		
土地	46,438	46,438
その他(純額)	60,782	59,720
有形固定資産合計	107,221	106,159
無形固定資産		
その他	6,651	6,334
無形固定資産合計	6,651	6,334
投資その他の資産		
投資有価証券	155,951	164,397
その他	22,448	22,532
貸倒引当金	△256	△256
投資その他の資産合計	178,144	186,673
固定資産合計	292,016	299,167
資産合計	447,549	445,446
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,934	5,944
その他	54,693	46,110
流動負債合計	63,627	52,054
固定負債		
退職給付に係る負債	19,120	18,813
その他	12,282	15,415
固定負債合計	31,403	34,228
負債合計	95,030	86,283

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,654	36,654
資本剰余金	70,427	70,427
利益剰余金	235,961	236,142
自己株式	△9,343	△9,348
株主資本合計	333,699	333,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,240	29,605
繰延ヘッジ損益	△88	△88
為替換算調整勘定	△124	△152
退職給付に係る調整累計額	△5,264	△5,131
その他の包括利益累計額合計	17,763	24,233
非支配株主持分	1,055	1,053
純資産合計	352,518	359,162
負債純資産合計	447,549	445,446

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	71,649	57,495
売上原価	53,460	42,748
売上総利益	18,189	14,747
販売費及び一般管理費	15,597	12,399
営業利益	2,592	2,347
営業外収益		
受取配当金	778	747
持分法による投資利益	665	491
その他	184	156
営業外収益合計	1,628	1,395
営業外費用		
為替差損	12	11
固定資産廃棄損	17	25
投資事業組合運用損	-	11
その他	7	8
営業外費用合計	37	57
経常利益	4,183	3,685
特別損失		
投資有価証券評価損	171	-
新型コロナウイルス感染症による損失	-	239
特別損失合計	171	239
税金等調整前四半期純利益	4,011	3,445
法人税等	1,473	1,117
四半期純利益	2,538	2,328
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	16	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,521	2,330

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	2,538	2,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,063	6,103
繰延ヘッジ損益	△160	△0
為替換算調整勘定	△0	△3
退職給付に係る調整額	118	131
持分法適用会社に対する持分相当額	△43	239
その他の包括利益合計	2,978	6,469
四半期包括利益	5,516	8,798
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,500	8,800
非支配株主に係る四半期包括利益	16	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	音楽出版 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	57,818	3,970	9,860	71,649	—	71,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	561	58	2,200	2,820	△2,820	—
計	58,380	4,028	12,060	74,469	△2,820	71,649
セグメント利益	1,294	467	902	2,664	△72	2,592

(注) 1. セグメント利益の調整額△72百万円は、セグメント間取引消去△19百万円、当社における子会社からの収入535百万円及び全社費用△588百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	音楽出版 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,076	1,426	8,991	57,495	—	57,495
セグメント間の内部売上高 又は振替高	655	53	2,112	2,821	△2,821	—
計	47,731	1,480	11,104	60,316	△2,821	57,495
セグメント利益	1,944	121	336	2,401	△54	2,347

(注) 1. セグメント利益の調整額△54百万円は、セグメント間取引消去△16百万円、当社における子会社からの収入557百万円及び全社費用△595百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。